

H28 教職員等中央研修(第2回中堅教員研修)

特別支援教育の充実

一緒に考える研修会にしましょう!



名城大学大学院
大学・学校づくり研究科 曾山和彦

2016.7.28

特別支援教育充実に向けた国の動き

- 「高等学校における通級による指導の制度化及び充実方策について」・高等学校における特別支援教育の推進に関する調査研究協力者会議報告(2016)・平成30年度運用開始
- 特別支援学校全教員の特別支援教諭免許取得・中央教育審議会答申(2015)・平成32年度までに目指す 現在、特別支援学校教員の特別支援学校教諭免許保持率72.7%(本来、有すべきもの、しかし、教育職員免許法附則第16項「**当分の間、保有を要しない**」とする経過措置規定あり)、特別支援学級教員の同保持率30.5%
- 「全ての子供の能力を伸ばし可能性を開花させる教育へ」教育再生実行会議第9次提言(2016)・**大学教員養成課程で特別支援教育に関する科目の必修化**

お互い、情報収集のアンテナを立てておきましょう!



今、気になる子どもたち 1

~教師や友人と向き合おうとしない~

目の前の子どもたちは

- **大切に思う人の範囲が狭い**(杉森, 2009)
 - ・自分を大事にしてほしい。相手はどうでもいい
 - ・心の中は「自分」がいっぱい。「他者」はわずか
 - ・心の中に「自分」もわずか

声 私の心の中にいない人に「向き合わない・大事にしない」のは当然でしょ!

大人も 電車内の化粧。周りの人は「どうでもいい」

気になる大人!?

今、気になる子どもたち 2

~見えてくる支援の方向性~

「どうせ」「うざい、死ね!」

- 自分にOKと言えなければ、他者には尚更OKとは言えない。自分を大切にできなければ他者は尚更大切にできない
自尊感情(自己評価の感情)を育もう!
- 他者とかかわる技術・コツがなければ他者を大切にできない
ソーシャルスキルを育もう!

家庭、地域の教育力が以前に比べ、ぐっと落ちている

気になる子が昔以上に気になる理由の一つがここにある

キーワードは**自尊感情**と**ソーシャルスキル**
どちらも**かかわり**の中でしか育たない
人が人になるには**人**が必要

学校存在の意義がここにある!

今、気になる子どもたち 3

~発達障害の可能性~

特別支援教育開始から**1年**、もはや、知らないでは済まされない!

□ 小中通常学級に **%**(文科省, 2012)

高校(全日制)に**約 %**

大学に発達障害**診断有 %**
(日本学生支援機構, 2015)

本研修では「**自閉症スペクトラム障害**」について確認!
* 最も気になる発達障害(大学生も)

先生方の言葉に学ぶ 教室でできる特別支援教育

私が大切にしている言葉です

- 周りの子を育てたら、気になる子も一緒に育った
- A男を支える周りの友だちの力は、教師一人の支援をはるかに超える
- 周りの子どもたちの協力がなければB男は育たなかった

「ハンカチ」理論

ハンカチのほつれた糸を持ち上げても、糸が切れハンカチは持ち上がらない、ハンカチ全体を持ち上げれば、糸も上がる (親野「叱らないしつけ」より)

現代の子ども像と 教室でできる特別支援教育

私の現在地です

自尊感情&ソーシャルスキルが乏しい子どもたち

学級の気になる子の存在がクローズアップ

教室でできる特別支援教育「王道」3Step

Step1. 気になる子の理解
Step2. 学級集団の理解
Step3. 全ての子の自尊感情とソーシャルスキルの育成

ユニバーサル(普遍的)な教育が可能となる

「ちゃん学級」がインクルーシブ教育を推進する

Step1; 気になる子の理解

~忘れられない言葉がある~

・うまく指導してもらえなくてもいい。でも、子どものことは理解してほしい(ある保護者)

・教師は専門家である。教育を行う者が、教育を行う子どもについて無知のまま教壇に立つことは子どもに失礼極まりない(杉山登志郎)

せめて「自閉症だった私へ」等を読んでほしい

他にも、「自閉症の僕が跳びはねる理由」等

自閉症スペクトラム障害 (Autism Spectrum Disorder)

2領域(社会的コミュニケーションの制限、反復性の行動・興味)における軽度(L1)~重度(L3)の能力低下という連続体を示す障害 (DSM- 日本語版 2014年5月発刊)

PDD (広汎性発達障害)
* 社会性、コミュニケーション、想像力の弱さ

・自閉性障害 (*この中で知的な遅れを伴わない者が「高機能自閉症」)
・レット障害
・小児期崩壊性障害
・アスペルガー障害
・特定不能PDD (*非定型自閉症と同義)

DSM- では PDDの診断名

ASDへの支援の「王道」

気になる子の理解は不可欠そこから見える支援の「王道」

- 視覚情報の活用 フォトグラフィックメモリー
- 一度にひとつ 短期記憶の弱さ
- 予定の伝達 見通しのもちにくさ
- 肯定的表現 苦手な禁止、注意
- 文化に寄り添う

感覚の過敏性 (例) 触覚、聴覚、視覚、嗅覚、味覚等
字義性 (例) 真っ直ぐ家に帰るのよ あそこの角を曲がらないと帰れないよう

拙著「気になる子への支援のワザ」(教育開発研究所)に事例がたっぷり

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法 2013.6月成立)

- 差別的取扱いの禁止(法定義務)
- 合理的配慮不提供の禁止(国・地方公共団体等は法定義務)

基礎的環境整備のもとに

2016.4月施行

特に、学校生活の様々な場面における「合理的配慮」に関する校内整備が必要。保護者の声に応えるために...

Step2; 学級集団の理解

~学級が「居場所」になれば、学習指導、生徒指導、特別支援教育が機能する~

- 「居場所」の2条件(國分、河村)
 - 「ルール」と「ふれあい(リレーション)」
- A. マズローの階層説が「居場所」の理論ベース

ふれあい(自尊感情関連)
ルール(ソーシャルスキル関連)

自己実現
承認
所属・愛
安全
生理的

だから、まずはルール確立!

Step3; 全ての子の 自尊心 & ソーシャルスキル育成

□ 学級・授業づくりの中、「ルール・ふれあいづくり」を通して、**自尊心 & ソーシャルスキル**を育む

<ルールづくり> 主に、**ソーシャルスキル**育成

<ふれあいづくり> 主に、**自尊心**育成

13

ルールづくりは 「2本のアンテナ」で!

「話を聴く」というルール & スキル育成は?

□ を見逃さないアンテナによる感知 & 対応

- ・対決 メッセージ;
- ・対決 メッセージ;
- ・「 の問いかけ;

□ を見逃さないアンテナによる感知 & 対応

- ・肯定 メッセージ;
- ・肯定 メッセージ;
- ・ 提示;

年齢、発達段階、障害特性への留意が必要!

14

年齢・発達段階 & 障害特性への配慮とは

伝わるように言葉をかけましょう!

□ 私たちがよく使う「褒め言葉 & 注意」はどのような子どもに効く・効かないのか?
「境」は10歳 or **思春期**

□ 子どもは褒めれば育つのか?
「境」以降はなじまない。「落とし穴」もあり!

「大揺れの船(思春期)」から、子どもが海に投げ出された時、**泳いで行く・浮き輪**を投げる等、助けられる大人に!

知識・理論・技法 ← お薦め! アイメッセージ & 勇気づけ

障害特性への配慮は先の資料参照(例: ASD)

15

ふれあいづくりは 「縦系」 & 「横系」を織り上げる

□ 縦系; 教師と子どもを結ぶ系

□ 横系; 子ども同士を結ぶ系

縦系 & 横系を紡ぎ、学級という「機」を織り上げましょう!

学級づくり = 機織り このイメージがなじみます

16

教師と子どもの 「縦系」を織るワザ

主に自尊心へのアプローチ

□ 全ての子どもに「ボール」を投げる

気になる子は「褒められ、叱られ」で、「ボール」を「グローブ」で比較的多く受けている。周りの子は?
気になる子には、学校全体で「ボール」を投げよう!

□ 子どもの「長所」や「好き・得意なこと」等を使い、**褒める・勇気づける・認める**

大好きだったなあ、「ハングル少年」のA君。(今、君に感謝!!)

関係づくりの第一歩は相手への関心から

17

子ども同士の 「横系」を織るワザ

主にソーシャルスキルへのアプローチ

□ **1週間に一度、10分程度**でできる「シンプル & 面白い」グループアプローチを活用する

ふれあいづくりに向けた「**打ち上げ花火**」

<お薦め演習>

- ・ 二者択一
- ・ アドジャン

学校生活の様々な場面でスキルの強化 & 般化

愛知県刈谷市立依佐美中の実践が秀逸! * 配布資料参照

「王道」ステップ ワン・ツー・スリー (文溪堂) として発刊!

18

ソーシャルスキル・トレーニング(SST;social skill training) ~教えることがなじむ技法~

□ SSTは行動の教育
 してみせて、言って聞かせて、させてみてほめてやらねば、人は動かじ
 (山本五十六元帥)

<基本展開>
 1. インストラクション(言語指示)
 2. モデリング(示範)
 3. リハーサル(実行)
 4. フィードバック(評価)

演習;アドジャン

ねらい;挨拶、話の仕方()です、
話の聴き方(顔き、視線、表情等)

19

構成的グループ・エンカウンター(SGE; structured group encounter) ~教えることがなじまない技法~

SGEは感情の教育
 ・「 に気づいた、 を感じた」等、個々の気づきをうながす。

演習;アドジャン

ねらい;自己理解

20

ユニバーサル授業づくりのヒント 1 ~気になる子ども溶けこむ小学校授業~

□ 1指示1動作(山郷小) 2009年、TVにて紹介

学童期は「知識生活時代」、環境さえ整えば、学びが楽しくて仕方ない段階にある。まさに、そうした子どもたちの姿あり

□ ユニットとルーティン(員弁東小) 私の中でのベスト1

A男を支える周りの友だちの力は教師一人の支援をはるかに超える

21

ユニバーサル授業づくりのヒント 2 ~気になる子ども溶けこむ中学校授業~

全校で授業スタイルを統一(和具中) *員弁東小も同様

- 1. 目標の提示、学習課題の提示、基礎・基本の確認
- 2. 個人追求(自分一人で考える・やってみる・活動する時間)
- 3. 「磨き合い」;ペア・グループから全体へつなげていく活動(仲間とかかわりながら考えを出し合い深め合い、高め合う活動の時間)
- 4. 振り返り(まとめ・定着・確認)

22

ユニバーサル授業づくりのヒント 3 ~教師の声&成果につながったポイント~

<和具中教師の声>
 授業スタイルの統一により、生徒が落ち着いて学習に臨むようになった/授業のはじめに「目標提示」、最後に「振り返り」があり、生徒が目的をもって1時間の授業に臨むようになってきた/グループ学習継続により、授業中の話し合いに慣れてきた/「磨き合い」の中で、わからないことを気軽に聞いたり、根気よく説明したりする姿が見られるようになってきた 等

<成果につながったポイント>
 ・ルーティンの導入
 ・視覚情報の活用
 ・ペア・グループ活動の導入

私の大学授業も似ています

鳥取県立日野高校、倉吉農業高校の参観授業もGood!

23

ユニバーサル授業の方向性 ~各地の実践に学び、大学講義を通して感じたこと~

- 明確な目標(ゴール)が示された授業
- リズムとテンポのある授業
- ペア・グループ等、かかわりのある授業

私の現在地です!

24

プラス 自尊感情育成

思春期の子ども&私たち大人に

- 友だちの声を使う
- 陰ぼめを使う

自分にOKと言えない人は、他者には尚更OKとは言えない。自分を大切にできない人は、他者は尚更大切にできない。だからこそ、**自尊感情(自己評価の感情)**を大切に！頑張っている自分・仲間に「OK」と言おう！

まずは、**私たち自身にOKと言うことから始めよう！**

25

プラス ソーシャルスキル育成

言い続けましょう！

- 気持ちのよい挨拶
- 丁寧な言葉づかい(話の仕方)
- ありがとう&ごめんね
- 話の聴き方(傾き、視線、あいづち)
- 笑顔

「打ち出の小槌」は、振ることによって様々なものを出せるという**伝説の小槌**。生徒が、「先生、あのね」と言ってきたとき、「なるほど」等、首を縦に振る「傾き」は、生徒と教師の間に「信頼」「安心」を生み出す、**現実の「打ち出の小槌」**。

傾きという「小槌」を振ろう！(打ち出の小槌理論！?)

26

おわりに

~特別支援教育の充実に向け、皆さんに伝えたい3つのこと~

- 一つだけでは多すぎる (外山滋比古)
- 学び続けることは教師の「職業倫理」
- 今、見ている景色も楽しむ

また、お会いしましょう！

27

主な参考文献

- 「自閉症だった私へ」、ドナ・ウィリアムズ、新潮文庫
- 「アスペルガー症候群と高機能自閉症の理解とサポート」、杉山登志郎、学研
- 「**頼業**」、トマス・ゴードン、サイマル出版
- 「時々、「オニの心」が出る子どもに**アブロー**学校がする**ソーシャルスキル・トレーニング**」、曾山和彦、明治図書
- 「**気になる子への支援のワザ**」、曾山和彦、教育開発研究所
- 「**気になる子が溶け込む授業のしかけ**」、曾山和彦、教育開発研究所
- 「**気になる子の保護者への支援術**」、曾山和彦、教育開発研究所
- 「**気になるたち**」理解教育の基本、曾山和彦、教育開発研究所
- 「子どもに学んだ “王道” ステップ」ツウ・スリー」、曾山和彦、文溪堂

特別支援に関する私の考えの全ては「王道ステップ」にまとめました！

HP ; 「KAZU・和・POCKET」

28

参考

基礎的環境整備と合理的配慮の項目

- 基礎的環境整備8項目 国、都道府県、市町村
 - 「専門性のある指導体制の確保」、「専門性のある教員、支援員等の人的配置」、「施設・設備の整備」、「交流及び共同学習の推進」等
- 合理的配慮3観点11項目 学校の設置者、学校
 1. 教育内容・教育方法；「学習上または生活上の困難を改善・克服するための配慮」、「心理面・健康面の配慮」等
 2. 支援体制；「専門性のある指導体制の整備」、「災害時等の支援体制の整備」等
 3. 施設・設備；「校内環境のバリアフリー化」等

29

参考

実践事例データベース活用を！

30

参考

合理的配慮を学ぶならこれ!

31

参考

依佐美中実践の全てがここに!

32